



① 胸椎黄色靭帯骨化症の画像

a, b. 胸腰椎移行部 MRI T2 強調画像.

c. CT 画像.

T11/T12 椎間で後方から MRI で無信号の黄色靭帯骨化により脊髄が圧迫されている。脊髄には髄内高信号を認める。CT 画像では骨化は高吸収である。



② 脊髄髄内腫瘍（星細胞腫）の MRI 画像

a. T1 強調像矢状断, b. T2 強調像矢状断, c. ガドリニウム造影画像矢状断.

T1 では 4 椎体長にわたって胸椎が腫大している。T2 強調では髄内に高信号があり、また一部は特に強い高信号となっており、嚢胞 (cyst) の存在が疑われる。腫瘍は不規則に造影される。